

BPA について Stanford 大学が言い忘れている事

BY STEVEN HENTGES, PH.D 2016 年 7 月 6 日 IN INDUSTRY, POLICY

先週、スタンフォード大学の研究者による缶詰食品中の [ビスフェノール A \(BPA\)](#) に関する新しい研究のニュース記事が立て続けに出されました。尿の分析結果と自己申告による缶詰食品消費の解析に基づき、研究者たちは、[「缶詰食品・・・が尿中の高濃度 BPA と関係している」](#) と言う結論を下しました。そうなんです、つまり BPA はごく微量存在することはわかっていることなのですが、「BPA が安全なのか？」と言う点を見落としているのです。

BPA を原料としたエポキシ樹脂は数十年もの間、飲食料缶内面の保護コーティング材として広く使用されてきたことは衆知の事実です。もし皆さんがこのことに気づかないとしたら、おそらくコーティング材が食品を腐敗や汚染から我々をうまく守ってくれているからで、特にヒトを病気にさせる恐れのある微生物から守っていることを意味します。もしコーティング材が日常的に、あるいはたった一度でもトラブルを起こしたとしたら、おそらくコーティング材の噂を耳にしたことがある筈です。そうなれば新聞の大見出しとなるにふさわしいかもしれませんが、皆さんはそんな大見出しをご覧になったことはありませんよね。なぜならコーティング材は非常に効果的に機能してきたからです。

研究者たちが論文中で指摘しているように、消費者はこれらのコーティング材を通じてごく微量の BPA に暴露しますが、一方では、BPA は体内に摂取されると代謝されて、尿を介して即座に体外へ排出されます。さらに代謝産物には既知の生物学的活性はなく、代謝過程は非常に効率が良く BPA そのものはほとんど血流に到達しません。

しかし記事は何かを見落としています。それはスタンフォード大が明らかに皆さんに伝えるのを忘れていたことです。人々が缶詰食品からのごく微量の BPA に暴露するとして、果たしてそれが安全であるのか？ というニュース速報はほとんどありません。今回の学術論文はスタンフォード大のプレスリリースであり、スタンフォード医学部のレポートでもありますが、マスコミ報道の全てはある一つの CNN の例外を除いて、この重要な疑問に注意を向けていません。どうして彼らはみんな(スタンフォード大もマスコミも)忘れられるのでしょうか、いや忘れてはならないのです。

疑問を投げかけただけでなく、米国の権威ある機関、つまり米国食品医薬品局(FDA)に質問した CNN に称賛を送りましょう。彼らが FDA からもらった完全な答えは、[CNN の記事](#) で以下のよう

「FDA はこれまで広範囲に渡る研究を行い、BPA の安全性について何百もの研究をレビューしました。そして食品包装で現在承認されている BPA の使用は安全であると究明しました。FDA は BPA に関する文献や研究を引き続き監視しています。」

Lauren Sucher - 米国食品医薬品局担当報道官, CNN への回答

ほらね。FDA は安全と言っています。FDA が「BPA は安全である。」と言ったことをスタンフォード大が言い忘れたのはとても残念なことです。